

## 会 議 録

会議の名称	那珂川市環境審議会		
開催日時	令和4年11月28日(月) 14:00~16:30	開催場所	勤労青少年ホーム 第1・2会議室
出席者	<p>1. 委員 朝廣委員、帆足委員、熊谷委員、中島委員、岩城委員、草場委員、比嘉委員、井上委員、川崎委員、池田委員 ※原口委員は都合により欠席</p> <p>2. 市(事務局) 春崎環境課長、江藤生活環境担当係長、高崎ごみ減量推進担当係長、雪見、岩崎</p> <p>3. その他 エヌエス環境株式会社(コンサルタント) 2人 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所(コンサルタント) 2人 傍聴者なし</p>		
公開区分	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 ・ <input type="checkbox"/> 一部開示 ・ <input type="checkbox"/> 非開示		
<p><b>議題及び審議の内容</b></p> <p>1. 開会(会長挨拶)</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 第2次那珂川市環境基本計画年次報告書(令和3年度版)について 事務局:資料に基づき、年次報告書について、事務局が説明を行った。 委員:昨年度の審議会でも同様のことを言ったが、議事録がないと議事の過程がわからない。 A~Dの達成度と指標で評価されているが、4分野ごとに総括すべきではないか。 事務局:議事録は今回の審議会より公表予定である。 達成状況は、前回審議会後に課内で調整し、現計画のまとめの段階で評価する予定である。 会 長:議事録は公表前に審議委員に内容確認すること。 委 員:達成度がC、Dとなっているのを見てみると、半数以上がコロナウイルス感染症を理由としたものである。開催できない事業もあると思うが、次年度計画に代替案を入れられないのか。 事務局:回復すればこれまで通り開催できると考えている。予算が必要な事業もあり、代替案は考えているが、コロナの感染状況も先が見えず難しい。複数年できない状況が続けば別のものに移行すること考える。事業ごとに検討していきたい。 委 員:他の自治体も環境基本計画を策定していると思うが、那珂川市独自のもの</p>			

はあるのか。

事務局：那珂川市の状況に合わせて施策をすすめているので、独自のものにはなっていると考えている。第3次計画の策定に着手しているが、強調していれるべき内容などあれば委員からの提案をいただきたい。

委員：背振山に枯葉剤の材料が埋設されているということで、情報を調べている。埋設場所は吉野ヶ里町だが、分水界にあり、那珂川の上流域にあたる。那珂川市として何らかの対応・報告等できないか。

事務局：県等と連携することになると思うが、現在環境課では把握できていない。今後、地域づくり課など担当課に確認して回答したい。

委員：できるだけ早めの情報がほしい。

委員：環境保全推進員は各区から推薦された方が任命されているが、あまり活動されていないようである。環境に興味のある方を任命して、任期を長く活動させてはどうか。

産業廃棄物や災害ごみはどこで処理しているのか。

事務局：現在は2年間の任期で活動してもらっており、年2回の会議・研修等で知見を深めてもらっている。環境への知見がある方を推薦いただいていると考えている。これまでは単独での活動が多かったため、今年度から他の区の委員と情報交換をしてもらう機会を設けている。

産業廃棄物は事業活動から出るもののうち指定された種類のもので、都道府県知事が許可を出して民間が運営する廃棄物処理施設があり、そこで処理をする。有害なものは管理型という処分場で処理されており、それ以外は安定型という処分場で処理されており、それぞれ適切な管理をされている。

災害廃棄物は一般廃棄物となり、市町村の処理施設で処理している。被災した自治体で、処理が難しい場合は近隣でも処理しており、熊本地震の際は、春日市にあるクリーンエネパーク南部でも処理を行った実績がある。

委員：環境保全推進員は適材適所で選出するよう行政から言って欲しい。

委員：過剰包装を那珂川市からなくすような取り組みをしてほしい。

委員：環境保全推進員は選出するのはなかなか難しい。

会長：センダンの植樹について取り組まれているが、成長が早いので、鳥などによって空き地や空き家などに広がり問題となっている地域もある。広がった場合の駆除など、良い面と悪い面があることをふまえて施策を検討してほしい。

## (2) 第3次那珂川市環境基本計画策定に係る市民ワークショップの報告

事務局・コンサルタント：資料に基づき、市民ワークショップの報告について、説明を行った。

委員：アンケートの成果指標の目標値はどこから設定したのか。高すぎるのではないか。

コンサルタント：現計画策定時に10年前のアンケートから設定されたものである。

(現計画資料編 P17～18)

委員：アンケートの目標値は見直した方が良い。

委員：ワークショップは何のために開いたのか。どういうふうには計画に反映するのか。

事務局：アンケートもワークショップも住民参画のための意見を聞く場として実施した。

会長：耕作放棄地や騒音など、年次報告書の指標は良くなっているが、ワークショップやアンケートでは不満がある項目が見受けられる。指標と市民の認識に乖離が見られ、指標だけでは測れないものもあるので、結果をふまえて検討してほしい。

委員：シェアサイクルがあったが何故なくなったのか。

事務局：利用者が少なかったため、中止になった。

### (3) 再生可能エネルギー導入戦略・地球温暖化対策実行計画について

事務局・コンサルタント：資料に基づき、再生可能エネルギー導入戦略・地球温暖化対策実行計画について、説明を行った。

委員：吸収量について算定されていないのか。

コンサルタント：このシナリオに関しては吸収量を加味しないシナリオとしている。森林は成長する際にCO<sub>2</sub>を吸収ため、現在森林整備面積等の資料を収集中であり、最終的には吸収量も提示する予定である。吸収量を含めたシナリオとするかどうかは今後検討する。

委員：風力発電のポテンシャルが高いが、今はないのか。計画もないのか。

事務局：現段階では設置も計画もない。

委員：これからの5年10年で那珂川市に風力発電が立つ可能性はあるのか。投資する力がない。

事務局：風力発電は、周辺環境への影響等を総合的に判断して、施策に入れるかは考える。

委員：風力発電に投資する力はないと思う。那珂川市でやるなら家庭での普及が第一だろう。市民と協力したゼロカーボンを目指してはどうか。

委員：市ノ瀬の水力発電があるはずだが、入っていないようだ。

事務局：九州電力の施設のため、含まれていない。

委員：市から省エネ家電買換え促進のお知らせが届いたが、期間を延ばしてはどうか。

事務局：物価・エネルギー価格の高騰とコロナによる経済負担軽減を目的としており、省エネにも寄与できるのではないかと行うもので、国の交付金を利用しているため期間が定められている。

委員：広報で全世帯に配布するのか。

事務局：広報では間に合わないので、郵送で全世帯に配布している。今週中には配布完了予定である。再生可能エネルギー導入戦略骨子案と区域施策編概要については、内容や数値等変更となる可能性があり、イメージとして認識していただきたい。

会長：施策が太陽光発電に偏っているように感じる。廃棄の問題などもあるため、木材チップや水素など多面的に検討されてはどうか。運輸部門は課題だと思うので、具体策を講じる必要がある。

#### (4) 那珂川市一般廃棄物処理基本計画の改訂について

事務局：資料に基づき、那珂川市一般廃棄物処理基本計画の改訂について、事務局が説明を行った。

委員：環境教育・普及啓発の充実とあるが、出前講座の充実は必須である。厨芥類が多いことから、こどもを対象として、学校においてコンポストを活用した環境教育などが必要ではないか。県内の先進自治体なども参考に検討していただきたい。

委員：ごみの組成調査結果で、高分子類（プラスチック類）が17.9%となっている。資源となるものが燃えるごみに入っているということか。

事務局：17.9%全てが資源化できるものではないが、一部資源化できるものが含まれている。施策の内容についてのご意見は、アンケート票に記入いただき、返送封筒で12/15必着でお願いしたい。

会長：その他全体として意見があれば。

委員：1回の諮問にしては量が多い。今日くらいのボリュームなら2回に分けてほしい。

委員：資料の右肩に資料番号を明記してほしい。

那珂川市の使用している焼却場、取水場、最終処分場の現地見学を企画してほしい。

会長：今後検討してください。

ほかに意見等なければ議事を終了する。